

経営改善計画書(令和2年度～令和4年度)

団体名	有限会社かみんぐさじ
-----	------------

様式2

現状と課題	令和2年度よりコロナ禍の影響が甚大なものとなり、先行きが不透明な状況が続いている。しかしながら、令和3年度より鳥取市指定管理料が200万円増額の600万円となり、また、国、県の助成金を活用することで、因州和紙や佐治和紙の伝統を守り次世代へ繋げる施設としてより一層気を引き締めて事業を進めていく所存である。また、従来の和紙製造を守りつつ、アート素材としての和紙の提供や、シルクスクリーン印刷技術を活用した新商品開発、SNSの最大限活用等、現代の生活に合った「和紙」の形を模索し、これをひとつひとつ実現していくと同時に、累積解消を目指す。
経営方針 (令和4年度目標)	体験実習部門のメニューの充実及び展示室商品の開発に力点を置き店頭、外販の増収を図り利益確保の柱となるべく計画実行をする。食堂スペースを広く一般町民に有効利用をしてもらう計画を策定したい。役職員の資質向上を目指す研修会に積極的に参加をする。

視点	4年度目標 (期間内の最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当課コメント			
			取組内容	目標値	取組状況	実績値					
経営改革 (財務面での長期見直し)	新規顧客開拓に向けての取り組み	2年度	和紙製造部門の合理化及び品質向上に努めます		新型コロナの影響で手すき和紙の需要が激減したため、和紙工場稼働日も激減	年間稼働日数 40日/254日	国の雇用調整助成金を活用し雇用を維持	<ul style="list-style-type: none"> 今後も新たな企画提案とともに経営の安定に努めていただきたい。 コロナ禍を契機に始まった新たな事業の方法や事業展開の中で、事業拡大や新規顧客の開拓を進めてほしい。 FacebookやTwitter、YouTubeなどのSNSの活用した情報発信は今後も継続していただきたい。 アフターコロナの取り組みとして、webの活用やインバウンドへの対応と併せて、和紙の供給体制の充実を図り、経営安定化の体制を整えていただきたい。 			
			SNSを活用し潜在顧客へのアピールを図ります	Twitter フォロワー数 50人	和紙や、地元鳥取市・佐治町の魅力発信に努めた	フォロワー数 約170人	施設イメージアップに貢献				
			新商品の開発・販路開拓に取り組みます	年度内に1種類商品化	鳥取県・COCOROSTOREプロデュースによる商品開発・販売開始	2種類商品化	県内外のショップで展開され、今後に期待				
		3年度	和紙製造部門の合理化及び品質向上に努めます		前年に引き続き新型コロナの影響で、和紙工場稼働日を激減	年間稼働日数 82日/254日	国の雇用調整助成金を活用し雇用を維持				
			各種団体との連携を強化し入館者の増加を図ります	入館者数 前年度比 10%増	新型コロナの影響に伴い8月は体験受け入れ中止とするなど対応に追われた	入館者数 前年度比 3%減	コロナ後を見据え、体験メニューの充実等満足度アップを図る				
			SNSを活用し潜在顧客へのアピールを図ります	Twitter フォロワー数 100人	9月にInstagram開設、2月に施設紹介YouTube動画作成	Twitter フォロワー数 約270人	SNSを通じ交流することで、関係人口増加を図る				
		4年度	和紙製造部門の合理化及び品質向上に努めます		前年に引き続き新型コロナの影響で、和紙工場稼働日を制限	年間稼働日数 145日/254日	国の雇用調整助成金を活用し雇用を維持				
			インターネットショップの商品内容の充実と、利用率アップを目指します	利用件数 前年度比 20%増	R5年度 ホームページ・ネットショップ リニューアル実施予定	利用件数 前年度比 12.5%増	個人客だけでなく、小ロット企業案件の対応窓口としても機能するページへ				
			各種団体と連携し、インバウンド等の新規顧客開拓を図ります		コロナの影響で新規顧客獲得とならなかったが、WEB予約システムを新たに導入	単年度 6件(WEB予約)	1日24時間いつでも予約できるので、利便性が改善した				
		組織改革 (組織見直し、人材育成)	後継者育成に向けての取り組み	2年度	和紙職人の高齢化に伴い、負担軽減に向けた勤務体制の見直しを進めます		コロナの影響で休業状態が続いたため、職人の身体面での悪影響が懸念される			次年度の新型コロナの早期終息・和紙需要回復に期待	<ul style="list-style-type: none"> ・役職員一丸となって、意識改革及び生産性向上に努めてほしい。 ・後継者の発掘に取り組みとともに、将来の後継者となるための充実した育成研修を実施していただきたい。 ・後継者が育ち、持続していける組織改革に今後とも強力に取組んでいただきたい。
					職員研修を行い、知識・技術の向上に努めます	年2回実施	コロナの影響で休業状態が続き、研修実施せず			次年度開催予定	
				3年度	後継者育成支援事業等を活用し、和紙職人の後継者育成に取り組めます		R4年度より後継者育成事業を活用し実施予定		希望者 1名	R2年度からの取組みが若年層へのアピールに繋がった	
職員研修を行い、知識・技術の向上に努めます	年2回実施				経営・財務マネジメント強化事業を活用し、経営方法の見直し、職員の意識向上	年3回実施	経営方法について具体的に学ぶ機会となり今後に活かしたい				
4年度	役員を含め職員の待遇改善に取り組み、最低水準からの脱却を目指します				就業規則の見直しを図るとともに、R5年度 鳥取県男女共同参画企業認定申請予定		職員の待遇を少しずつ改善し、気持ちよく働いてもらえる職場へ				
	後継者育成支援事業等を活用し、和紙職人の後継者育成に取り組めます				希望者 1名の研修受け入れを開始、佐治三短紙の製造に取り組み	研修生 1名	研修は順調だが、研修終了後の働き方をじっくり協議する必要がある				
	職員研修を行い、知識・技術の向上に努めます			年2回実施	鳥取県因州和紙組合主催、因州和紙フォーラム・和紙文化研究会 オンライン研修	年2回参加	他産地との交流も積極的にいけるよう働きかけていきたい				
公益増進 (顧客サービスの向上、社会貢献)	施設の魅力アップに向けての取り組み			2年度	体験学習利用促進のため、出張体験メニューの開発を行います	単年度 2件	少ない回数ではあるが、感染対策を行い実施することができた	2件開催	今後需要が増えると思われるため臨機応変に対応していく	<ul style="list-style-type: none"> ・IC化を進め、スムーズな会計処理を行い、衛生面でも安心なサービスの提供を継続してほしい。 ・施設の運営においては、地域貢献も大切と考えられており、地域のための有効活用を進めていただきたい。 ・施設の魅力アップにつながる新たな体験メニューや新商品開発に取組んでいただきたい。 	
					キャッシュレス決済を導入し、顧客サービスの向上に努めます		タブレット端末・カードリーダーを導入し、カード決済が可能に	各種カード利用可能	タブレット端末はSNS・Youtube動画編集等にも活用		
		食堂スペースを地域の公益活動の場として利用できるよう努めます	単年度 5件		感染対策を行い、公共利用を実施することができた	年5回実施	利用マニュアルを作成するなど、より公共性を高めていく				
		3年度	体験学習利用促進のため、出張体験メニューの充実を図ります	単年度 2件	佐治町人権福祉センター、千代南中での出張講座を開催	年2回実施	他地域でのイベントにも積極的に参加していきたい				
			専門家指導のもと、展示販売スペースの売り場リニューアルを行います		経営・財務マネジメント強化事業を活用し、売り場スペースの活用を検討		リニューアルの実施はできなかったが、新たな可能性を模索中				
			食堂スペースを地域の公益活動の場として利用できるよう努めます	単年度 5件	認知症カフェ年6回、パン作り教室年1回 開催	年7回実施	認知症カフェ人気によりR4～別事業所で実施予定				
		4年度	体験学習利用促進のため新しい体験メニューの開発・導入を行います	単年度 1件	「和紙のスタンドグラス作り」「ツリーオーナメント作り」「和紙のポチ袋・箸袋作り」他	単年度4件 開発・実施	出張ワークショップの需要が高いようなので、積極的に取組みたい				
			施設案内看板・施設パンフレットのリニューアルに取り組みます		老朽化した看板を撤去・パンフレットは予算の関係で簡易的なリニューアルのみ		引き続き、計画を立てて取り組みたい				
			食堂スペースを地域の公益活動の場として利用できるよう努めます	単年度 5件	認知症カフェ年1回、パン作り教室年2回 開催	単年度 3件実施	地域の皆様が利用しやすいような仕組み作りが必要				